

〒683-0067
米子市東町189-2
Tel 23-2030
Fax 23-2090

鳥取県労福協
西部支部ニュース
(財)鳥取県労働者福祉協議会 西部支部

No. 75

2009年 6月 23日

発行責任者:八幡 勇治
編集責任者:赤井 基

「労福協西部第2回学習会開催」

2009年5月20日に米子コンベンションセンターにて、前回行いましたメンタルヘルス学習会の2回目として開催しました。今回のテーマは、前回の講演の内容をさらに進め各職場でいち早く「メンタルヘルスの不調者に気づく方法等」をテーマに開催しました。

講師に引き続き産業カウンセラー心理相談員の鈴木直子氏を迎えて、「メンタルヘルス不調者への気づきと職場環境改善」という内容について講演いただきました。参加人数は前回より多く集っていました。

その中で、労働組合の役割としては、1. メンタルヘルス不調者が出了たときの対応より出さない対応をすること。2. 職場の現状を把握する(日頃からの声かけと良好な人間関係づくり)ことが大切。3. 衛生管理を使用者に任せっきりにしない。(労働者がチェックし、労働者の声を反映させること大切)以上職場全体の問題として取り組むことが重要との話がありました。そのほか、いろいろなお話をいただきましたが、一番大切なのは、同僚の変化に早く気づき、気づいたら声をかけ、話を聞き、職場のストレス要因を把握し、改善活動を継続的に行うことで自分たちの職場を働きやすくするための活動を展開していく方法が望ましいのです。

労働組合としても引き続き従業員からの相談活動を行い、会社と一体となり取り組む必要があると指摘されていました。この講演の資料は、労福協西部支部にあります。ご要望の方は、事務所まで。



労福協西部支部第33回通常総会開催しました

5月27日(水)「ベルライトよなご」において、第33回の総会を開催しました。

総会は、中島副支部長の開会挨拶で始まり、議長団には、中国電力ユニオンの杉原伸一郎氏を選出し、就任挨拶を受けました。その後、議事録署名人・書記任命・資格審査委員会設置を行いました。

書記には内田幹事・寺田職員が選出されました。

まず、西部支部を代表して八幡支部長より、日頃からさまざまな活動にご協力いただいていることに対してのお礼と、自治体への行動要請・ベルライトの状況等について挨拶を受けました。来賓には、県労福協の安田理事長にお越し頂き、激励の挨拶をいただきました。その後、資格審査報告、成立宣言を行い議事に入りました。

2008年度の活動報告は、赤井事務局長より提案がされ昨年決定された具体的活動に沿ってこの一年間、県労福協と連携を図りながら、「勤労者の暮らしに関する社会運動や政策要求の実現」「自主福祉活動としての暮らしのサポート事業(ライフサポートセンターとつどり)の基盤強化」「事業団体などの事業や活動が発展し、社会的な役割を果たしていく基盤づくり」「文化・スポーツ事業」などを通じ加盟団体や関係する諸団体と密接な連携のもとに取り組んだことなど報告がありました。その後、ピアベール・ベルライト部会の経過報告が中島部会長より報告がありました。

第1号議案は、赤井事務局長が提案し、全会一致で承認されました。

第2号議案、一般会計決算報告・スポーツ祭典決算報告が中島事務局次長より報告があり、会計監査報告を池山会計監査人より報告され質疑に入りましたが、第1号議案同様、拍手を持って承認されました。

第3号議案、2009年度活動方針(案)についても、赤井事務局長より提案があり、西部支部活動の自立、ボランティアを含めた運動のあり方等について検証を行い、時代に即した取り組みに切り替えなくてはならない。本年度は、活動の再点検を行い、勤労者、生活者に目線をおいた活動の前進を図るため労働団体をはじめとする事業団体、行政、議員、NPO、ボランティア団体との連携を図り、地域に根ざした活動を基本に具体的に取り組むことが提案され、拍手をもって承認されました。

第4号議案、2009年度予算(案)では、昨年度とほぼ同じ予算で活動をすることで承認されましたが、特に、各取り組みでの動員参加が多くなるよう要望がありました。



〈具体的には次の8項目を活動の基調として取り組みます〉

1. 制度政策の取り組み
2. 事業団体との連携
3. 自主福祉運動の取り組み
4. 労福協まつりの取り組み
5. 学習・研修の取り組み
6. 文化・体育活動の取り組み
7. ワンストップサービスの取り組み

最後に矢辺副支部長より閉会の挨拶を受け無事終了しました。
この一年間皆様のご協力をありがとうございました。

支部長挨拶

平素から西部支部の活動に際しましては、ご理解とご協力を賜り衷心より厚くお礼を申し上げます。

また、去る5月27日（水）に開催しました第33回の通常総会におきましては、2008年度の経過報告並びに2009年度の活動方針を満場一致で承認いただき誠に有難うございました

昨年は、新年早々から解散総選挙の報道に振り回され、その度に予定行事の変更を余儀なくされ、思い通りの活動が出来ない1年でした。そんな慌しい中でしたが、皆様のご協力によりスポーツ祭典や街頭福祉カンパ活動等の主要行事が実行できましたことに感謝しております。選挙に関しましては、今年は間違いなく衆議院選挙がある訳ですが、そのことで支部の活動に支障が出ないような対応を考えなくてはなりません。解散時期は、まだはっきりしていませんが、8月初旬か下旬という報道がされています。この時期は、中旬から下旬にかけて恒例のスポーツ祭典を予定しておりますが、仮に選挙と時期が重なったとしても予定通り行うこととしております。今年も昨年以上の参加をお願いしたいと思いますので、宜しくお願ひしま



労福協専任の事務局長を設置する件で少しご報告しておきます。予てより赤井事務局長の後任の人選を行っておりましたが、まさにこの人以外には無いという素晴らしい人が見つかりました。今後は、赤井事務局長の下で勉強（修行）してもらい、正式には来年の総会で就任していただきます。氏名等につきましては、次回の労福協ニュースでご案内しますので今暫くお待ちください。

もう一点、ピアベール・ベルライトよなごの問題について簡潔にご報告しておきます。ピアベール・ベルライトよなご部会そのものが昨年から休部状態にあり、皆様のもとへ何も情報が伝わらず、ご心配とご迷惑をお掛けしておりますことに深くお詫び申し上げます。この問題に関しましては、現在、西部支部と会社側（ピアベール）とで交渉を行っております。総会でも挨拶の中で触れさせていただきましたが、会館ベルライトについては、7月末日をもって閉館を予定しております。会館には、会議室の他にレストランや婚礼部門がありますので、閉館することによって、明らかに利便性が損なわれます。その代案として出されたのが、他の営業店と提携することで逆に利便性をあげるという提案です。例えば、婚礼については、申込みは従来と変わりありませんが、契約者が気に入った挙式場（現時点では全日空ホテルや大山ロイヤルホテル）を選ぶことが可能になります。また、レストラン部門も同様で、提携店方式にすることで、会員は選択肢が増し使い勝手が良くなると思います。現在は、味屋グループと提携することが内定していますが、米子市内はもとより、境港市や郡部などにも提携店が拡大できれば、飛躍的に利便性が増すことになります。今後も皆様に代わりまして、会員の立場で先方と交渉を行っておりますので、ご意見や要望がありましたら、何なりと西部支部にご連絡ください。

なお、このことにつきましては、ピアベールがリニューアルしますという内容で日本海新聞に掲載しますし、会員の皆様には、ピアベールから直に案内文書が届きますますのでご覧ください。

最後になりましたが、2009年度の活動につきましては、役職員一同、率先垂範して一生懸命頑張りますので、引き続きご協力いただきますよう宜しくお願ひします

(今後の行事予定)

2009年

8月中旬～	第46回労働者スポーツ祭典 西部地区大会
9月下旬	米子市、境港市、西部町村会要請行動
10月4日	第46回労働者スポーツ祭典県大会（中部担当）
10月中旬	西部支部学習会
12月12日	街頭福祉カンパの取り組み
12月中旬	福祉カンパ寄贈



年間活動：光子東勵学者福祉サービスセンター支援・アルミ年回顧・学習会・事業団体への協力